

3 - 8 1984年長野県西部地震について

The Western Nagano Prefecture Earthquake, 1984

名古屋大学 理学部

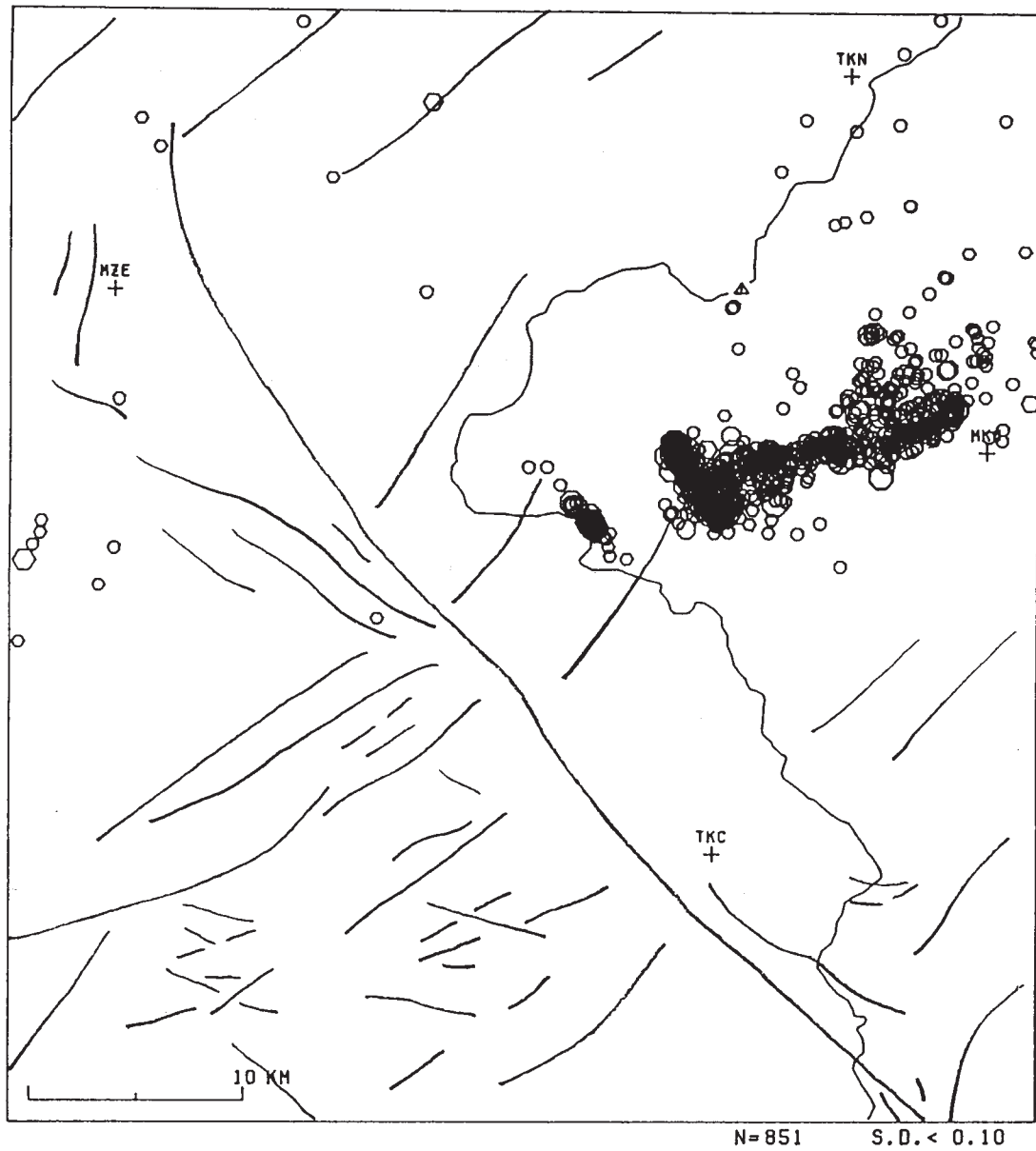
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1984年長野県西部地震のその後の余震活動について報告する。第1～3図は夫々1984年12月から1985年1月31日、1985年2月1日から3月31日、1985年4月1日から5月17日の余震域とその周辺の地震の震央分布を示したものである。また、第4図bは第4図aのA - A'で示した地域に発生する余震の時空間分布を示した。第5図は牧尾ダムに設置した地震計の記録からS - P時間が3秒以内の地震の発生数の日変化を示したものである。

- (1) 余震数はかなり減少してはいるが8ヶ月を経過した後も依然として活動的である。
- (2) 1984年11月9日に余震域の東端から東北東5kmほどの地域でM3.2の地震を含む小規模な活動があったが余震域の拡大ではなかった。この地域では1985年2月22日にもM3.1の地震を含む活動が認められた。
- (3) この期間で最大の余震は1985年2月26日のM5.1のものである。この時は余震数も一時的に増加している。
- (4) 本震の発生域ではこれまでの期間を通じて相変らず活動が低い。
- (5) 岐阜県との県境の地震活動は本震発生4日後の1984年9月18日から始まっているが、その後も活動は衰えず1985年4月23日からやゝ活発になっている。
- (6) 近くの阿寺断層周辺では1985年3月5日に断層の南東付近でM3.1の地震があった他、4月17日に断層の北西端付近でM3.3の地震と若干の余震が観測された。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：1984年長野県西部地震について，連絡会報，**33** (1985)，123 - 134.

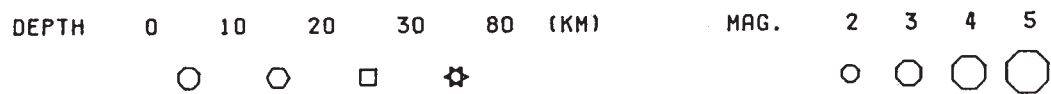
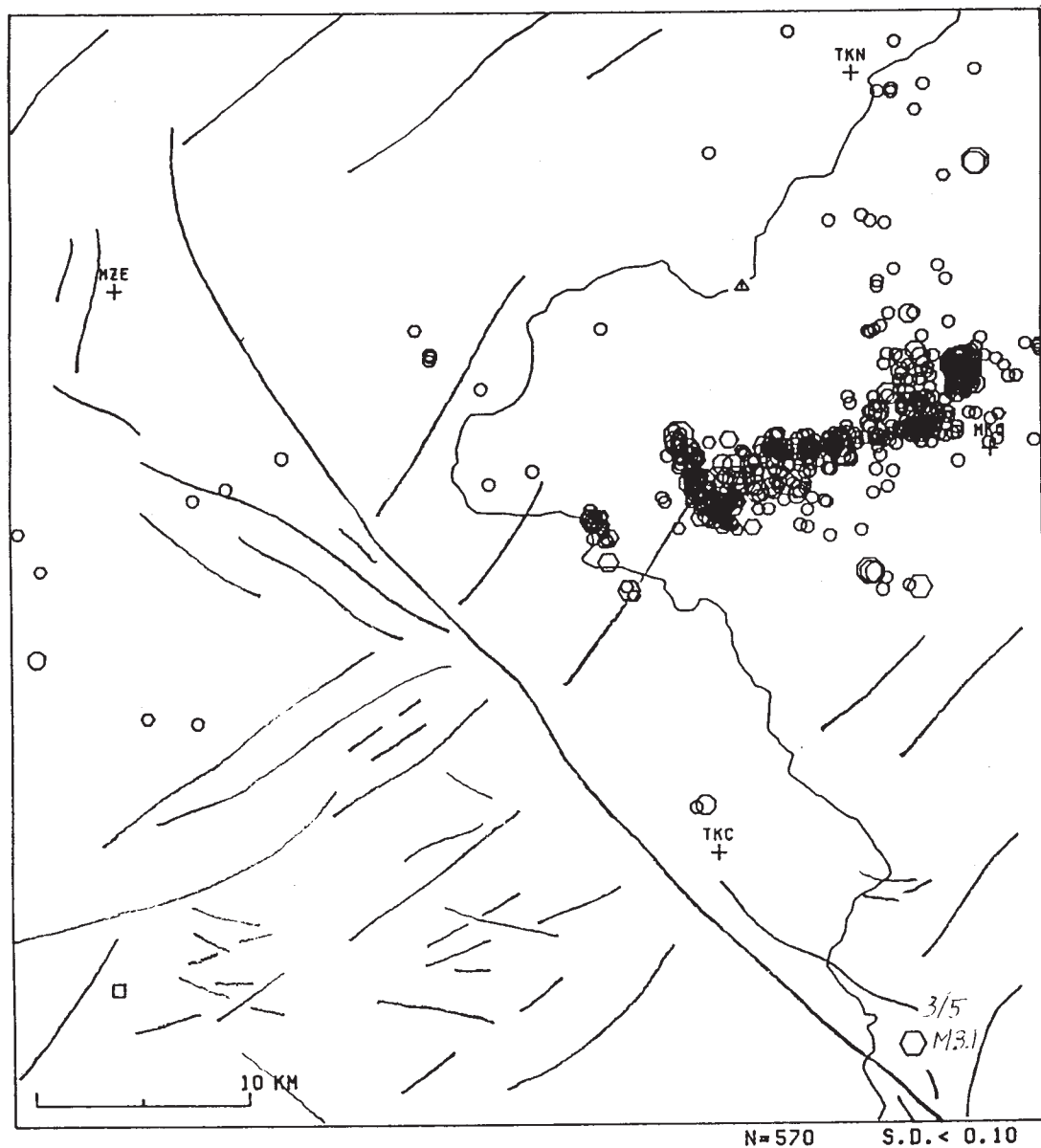


DEPTH	0	10	20	30	80 (KM)	MAG.	2	3	4	5
	○	○	□	☆			○	○	○	○

DEC. 1 '84 - JAN. 31 '85

第1図 1984年長野県西部地震の余震の震央分布 (1984年12月1日から1985年1月31日)

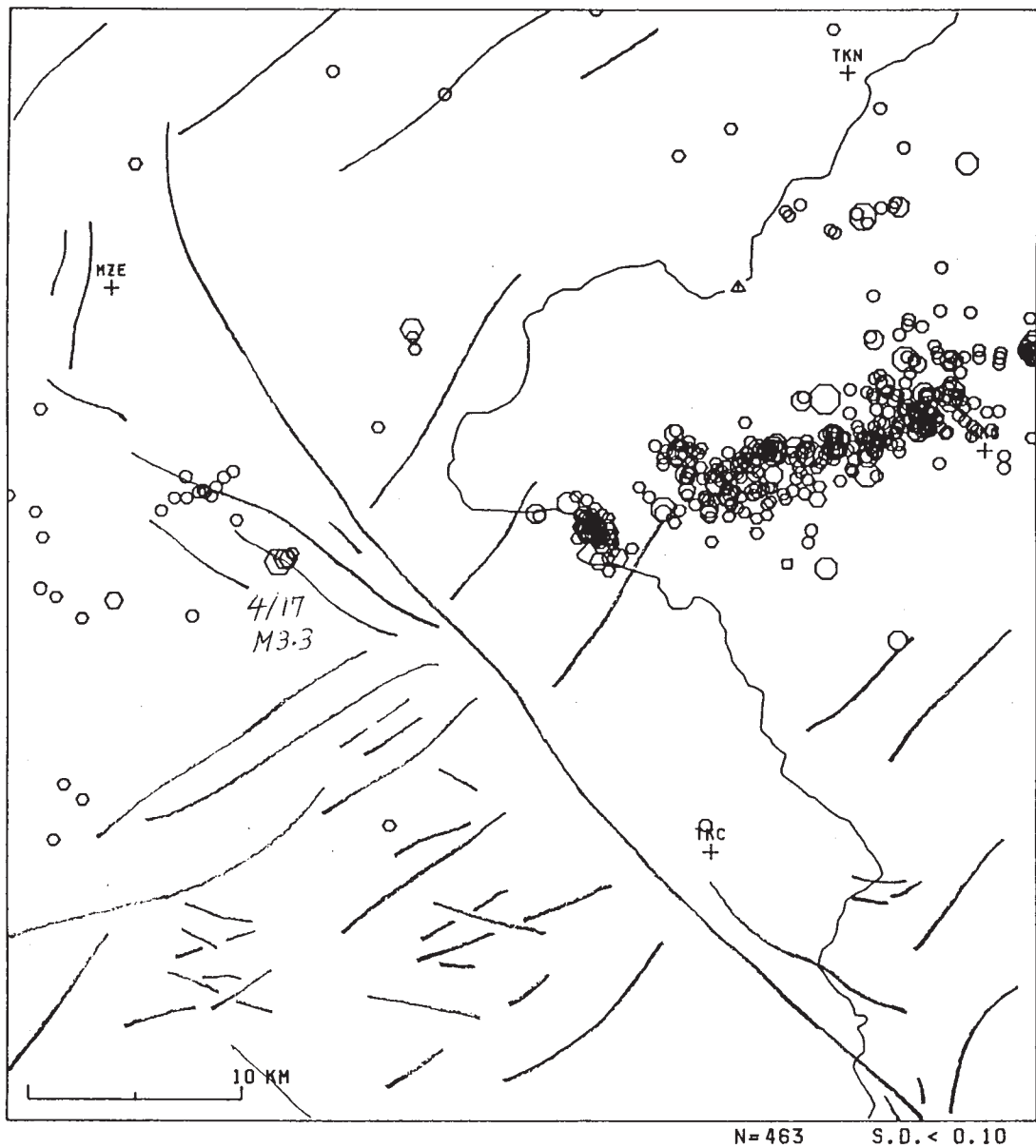
Fig. 1 Epicenter distribution of aftershocks. (December 1, 1984 - January 31, 1985)



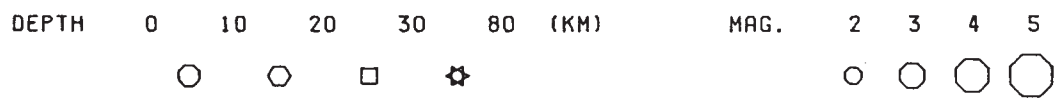
FEB. 1 '85 - MAR. 31 '85

第2図 1984年長野県西部地震の余震の震央分布 (1985年2月1日から1985年3月31日)

Fig. 2 Epicenter distribution of aftershocks. (February 1, 1985 - March 31, 1985)



N=463 S.D.<0.10



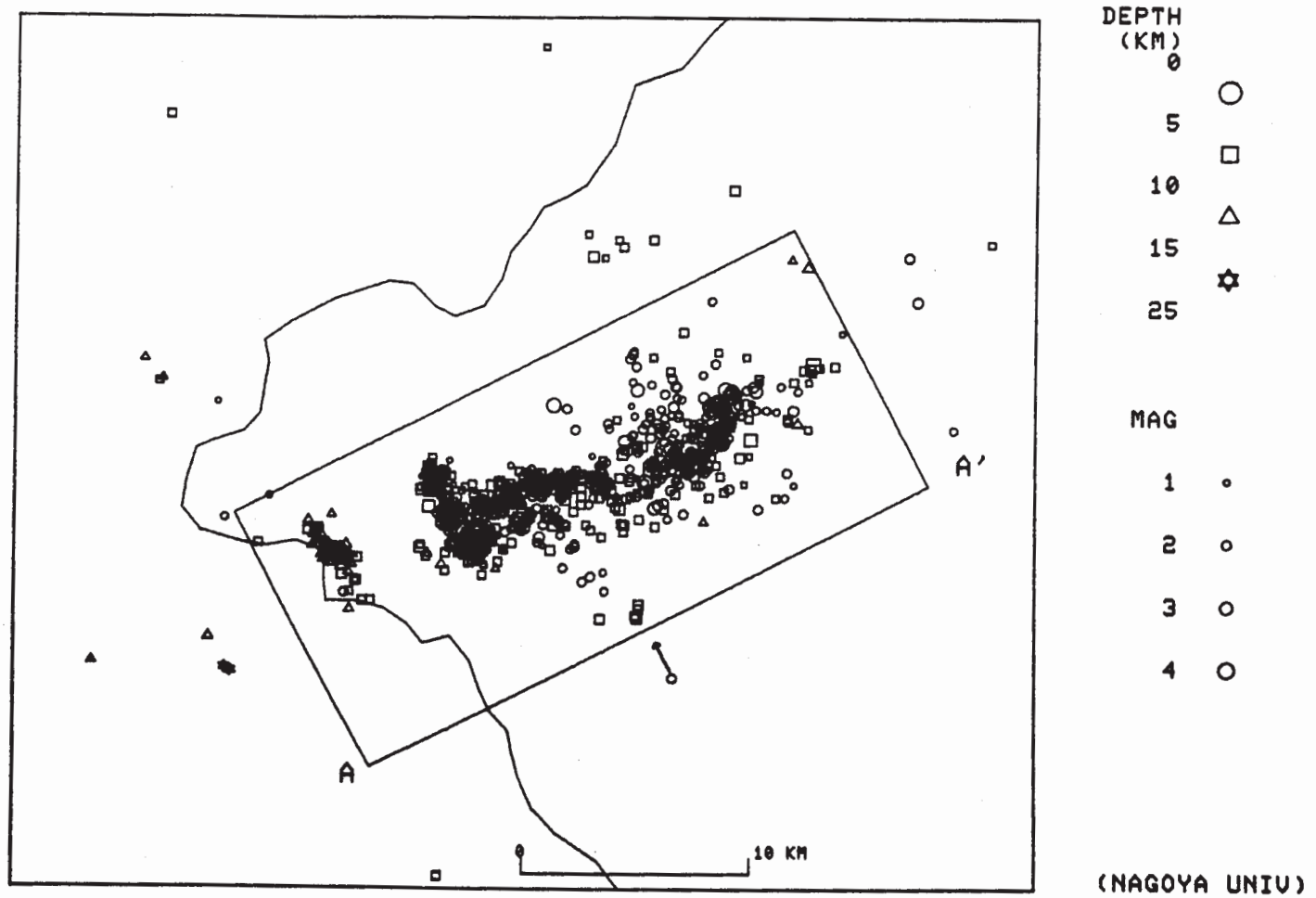
APR. 1 '85 - MAY. 17 '85

第3図 1984年長野県西部地震の余震の震央分布 (1985年4月1日から1985年5月17日)

Fig. 3 Epicenter distribution of aftershocks. (April 1, 1985 - May 17, 1985)

1984 11 1 - 1985 4 30

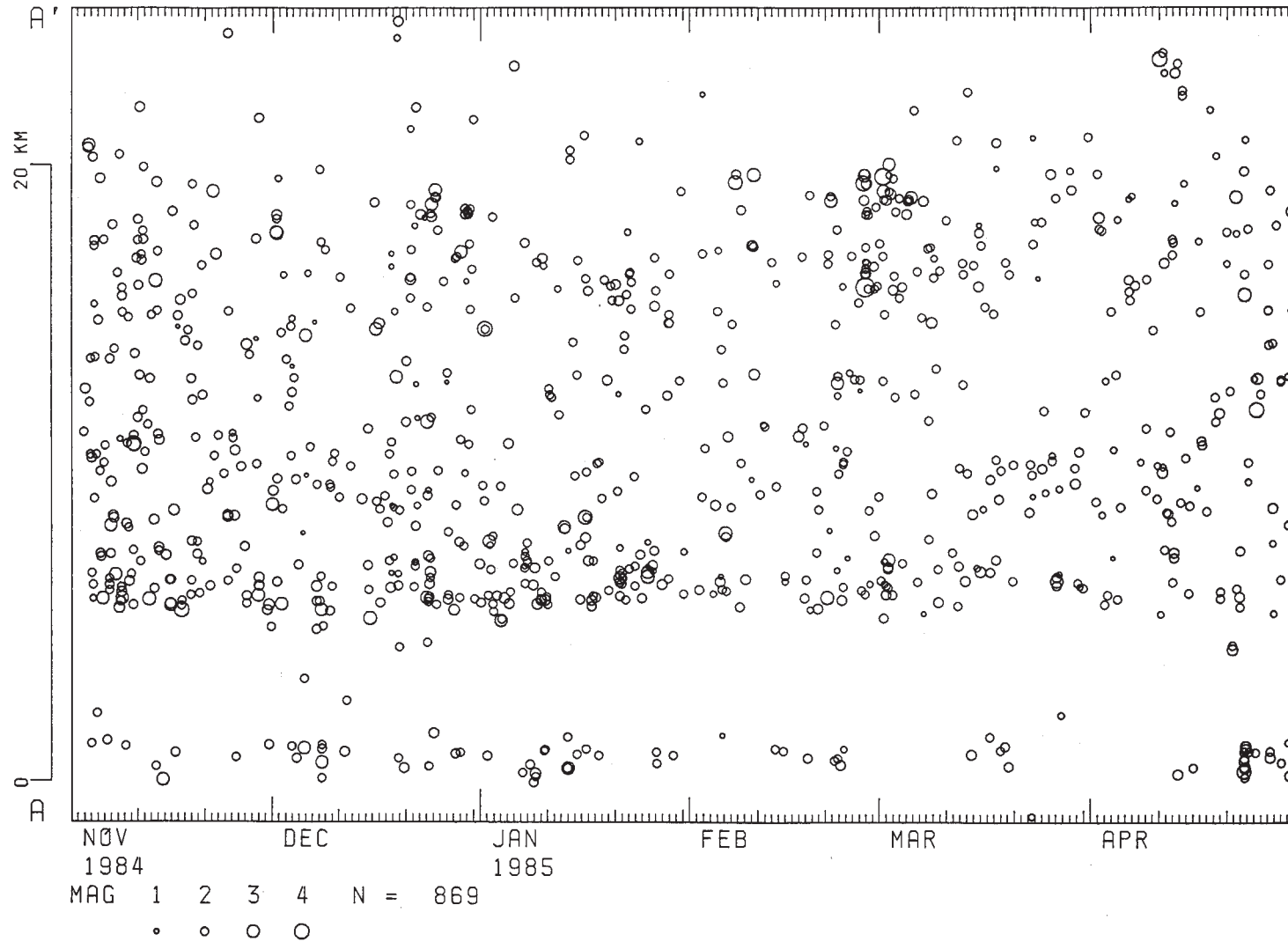
N = 848 STDU < .10



第4図 a 1984年長野県西部地震の余震の震央分布。図中の四角の枠は図bの空間領域を示す

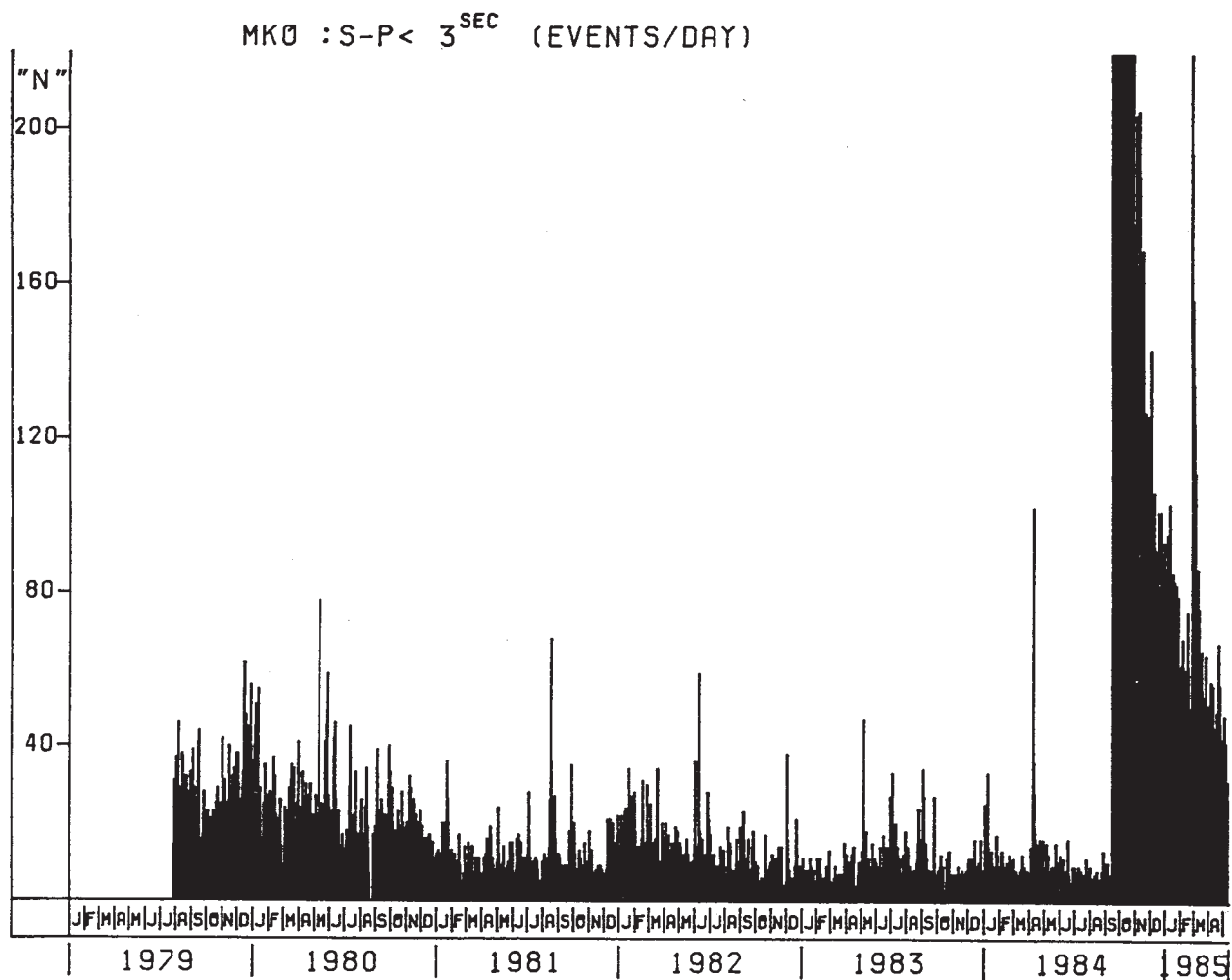
Fig. 4a Epicenter distribution of aftershocks. Space-time plot of aftershocks in the box AA' observed from south is plotted in Fig. 4b.

(137.3618, 35.8413)
 (26.4, -12.7, 20.0) FA.DB



第4図 b 南側から見た余震の時空間分布。AA' は図 a の AA' と同じ

Fig. 4b Space time plot of aftershocks. Ordinates are distances of epicenters from A measured in the direction of AA' in Fig. 4a.



第 5 図 牧尾ダムにおける日別余震回数。S - P 時間が 3 秒以内のもの

Fig. 5 Variation of daily number of the events with S-P time less than 3 sec at Makio station, east end of the aftershock region.